

会報

東京いいで会

平成15年1月発行

2003

創刊号



飯豊橋から椿地区を望む
町提供

ふる里の
山に向かいて
言うことなし
ふる里の山は
ありがたきかな
啄木

会報「東京いいで会」発刊によせて

東京飯豊会会長 木村 武

東京飯豊会は発足してから既に42年を経過、お陰様で私達ふる里会は多くの方々の暖かいご支援を賜り力強く今日まで継承してまいりました。会員数も千名を越える大きな輪となり、今まさに成熟期を迎えようとしております。少々遅きに失した感はありますが、今回会員皆さんとの意思疎通、私達のふる里「めざみの里いいで」との身近な掛け橋を主な目的とした広報部を新たに設置、皆様との交流広場の窓口としてアクティブに活動して参ります。

生まれ育ったふる里を共有する私達ですが、今のお住まいを第二のふる里とし、これまで幾年にわたり後ろを振り向く事すら厳しい、波乱万丈のドラマを生きてまいりました。当会を通し懐かしい旧友との再会、発展を遂げ

るふる里の様子紹介、特例ですが、数10年間音信不通の姉弟さんが当会で奇偶的に再会され、大変感謝された経緯もありました。当会はそんな出合いを大切に、少しでも皆様のお役に立てればと考えております。

会報「東京いいで会」は会員皆様のお力で大切に育てて頂く機関紙です。ご寄稿にあたり、日頃の身近なものから当会へのご意見等、是非忌憚のない筆文を当会広報部まで気軽にお寄せください。心よりお便りをお待ち申し上げます。『会報』につきまして当面は年1回の発刊を予定しております。発刊にあたり、日ごろ当会へのご支援に厚く感謝申し上げ、今後ともご指導ご鞭撻を賜りたくよろしくお願ひ申し上げます。

ふるさとだより

「会報の創刊に寄せて」



東京飯豊会会員の皆さま、新年明けましておめでとうございます。皆さま方には、輝ける新年を健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。故郷「飯豊」は、例年より早い降雪に驚かされましたが、正月元日は珍しく柔らかな初日の出を礼拝することができました。穏やかな一年であって欲しいと思います。

さて「東京飯豊会」は、会員の皆さんが遠く故郷に馳せる思いを語り、故郷の成長を見守られながら40年に及ぶ歴史を積み重ねられ、この度「会」の更なる発展を願う「会報」を発刊されますことは誠に喜ばしく、心よりお祝いを申し上げます。故郷は、これから3ヶ月余り厳しくつらい冬を過ごすこととなりますが、春には待望の『どんでん平ゆり園』の拡充整備を終え、華やかにリニューアルオープンする運びとなっております。皆さんが、故郷を自慢できる話題がまた一つ増えることとなります。ご期待いただきたいと思ひます。皆さんの故郷に寄せる思いに報いるため、皆さんが誇らしく思えるような“まちづくり”に励んで参りたいと思っておりますので、今後ともご支援をお願い申し上げますと共に、「飯豊会」と会員の皆さんのご健勝をお祈りし、一言お祝いとさせていただきます。

飯豊町長 斎藤 三三郎

◎北国からの飛来者
【今年もよぶんどつたねー】

今年も黒沢地区の水田に、白鳥が飛来してきました。五年ほど前、この水田の持ち主が個人でここを区画整理し、土を落着かせるためにと水を張っておいたのがきっかけ。それからというもの、この水田で白鳥たちは羽を休めるようになったのです。それ以来、毎年この地にやって来てくれます。休日などは、見学者で大賑わいです。

◎ふるさとついで
里帰りツアー
【なつかしい故郷に里帰り】

中津川地区の「ヤハハエロ」に参加し、一年間の無病息災を祈願。そして、郷土料理をごちそうになりながら、地元の人と交流を深め、真冬の夜をのんびり過ごすことができました。他に、団子下げや甘酒作り、雪遊びなどを通して雪国の大自然や文化に触れるイベント。お誘い合わせのうえ、ご参加ください。

◎東日本一のゆり園
【百二十種五十万本のゆりと季節の花々が咲き誇る】

東日本最大のゆり園が平成十五年六月オープン予定！これまでの七倍の敷地面積（七ヘクタール）になってリニューアル。園内では百二十種五十万本のゆりと季節の花々が咲き誇ります。見ごろは、六月から七月にかけて。



小白川神社獅子連
in 富山



第十回地域芸能全国フェスティバル富山が十一月七日（木）、富山市オーバードホールで行われ、式典の舞台で小白川神社獅子連が獅子舞を披露。これは、昨年「地域伝統芸能大賞」を受賞した五十嵐藤二さん（小白川）の地元神社獅子連ということもあり、今回の上演となったものです。小白川神社獅子連は、この日に向けて四ヶ月前から練習に励み、当日会場からは盛大な拍手が送られました。

飯豊町ホームページ <http://www.town.iide.yamagata.jp/> 0238-72-2111

四季折々のふるさと情報 ・ 行政の情報などが盛り沢山!!

『広報 いいで』の購読申込みは企画課広報担当まで連絡して下さい。

舟山繁太郎東京飯豊会最高顧問

卒寿を迎える（事務局）



東京飯豊会創設グループでもあり、現在も当会の最高顧問としてご指導いただいております舟山さんが、今年目出度く卒寿を迎えられました。去る9月27日、文京区弓町クラブに於いて約30名の役員さんの出席の下でささやかな記念パーティが開催されました。当日は舟山最高顧問のお人柄に感謝の気持ちを表し、樋口相談役自作の水墨画のプレゼントがありました。参加者全員からは色紙にお礼のメッセージを添えて贈りました。創設時の思い出話、餅つき、イベント等々飯豊会のすばらしい歴史として、大事に受け継いでいく事を語り合いながら、盛会のうちにお開きとなりました。

本会の諸先輩を想う

谷本 亮司（椿出身）

東京飯豊会も会員の方々のご支援、ご協力を戴き本日42回目の総会を開催する事ができました。心からお礼申し上げます。顧みれば10年ひと昔と云いますが、本会発足当時から諸先輩方々のなみなみならぬ苦労と努力で、友人、知人に声を掛け合って一致団結し「次世代へ」本会のある事を伝え広めて下さって受け継がれ、現在に至っているのです。故郷を後にして上京なされた方々には、幼い頃より育って来た田舎を思う心はみな同じです。年1回の集まりですが、町長さん始め来賓者からの町の様子、友人、知人の近況などの情報交換を語り合える楽しみを作った諸先輩の方々には本当に頭の下がる思いです。そして後を託された私達、会員の皆さん、長い歴史のある本会の『火』を消さぬよう益々発展に取り組んで行きましょう。発足当時から会長、役員として長い間ご尽力を頂き、すでにお亡くなりになられた方々には謹んで心からご冥福をお祈り申し上げます。役員、会員の皆さん、今後45周年、50周年を目指して東京飯豊会を次世代へ伝えて行きましょう。

義 母

斉藤ふみゑ（手ノ子出身）

我が家の義母は、8月9日で満86歳になりました。義父が亡くなってから丸7年、持病の糖尿病をかかえながらも、なんとか大きな変化もなく過ぎました。それでも年令には勝てず、このところとんと耳の方が遠くなりテレビの音声の大きさには廻りの者は困ります。主人も『バーさんのお蔭で聴力検査で難聴と言われた』と笑っていた。家の前の道路にいても『あっ、みのもんだのおもいきりテレビが付いてるなー』元気で居る証拠です。静かだとかどうかしたかと気になってしまいます。日本文化センターで集音器なるものを買って求め、試しに耳に当てて見たものの『だめだ！めんどくせい』と筆筒中……「まーいいか」一生懸命聞こうとする気持ちで、ボケないかも知れません。毎朝1回インシュリンの注射を自分で打っています。その事で自分が元気で居られる素と思って頑張っていますが、独りで打てなくなった時は……と思う私です。3歳になるひ孫と誕生パーティーでの事。ローソクの数、大8本、小6本「バーさん消すとツバが飛ぶから千夏消して」と60歳の息子に言われたのでは怒れず苦笑い。いつまでも元気でいてもらいたい“義母”です。



役員になって

深瀬 忠次（添川出身）

世の中厳しい変化の中でも、活動が続いている東京飯豊会。交通は便利になり、また通信、情報も発達しますます田舎との距離が近くなっております。しかし、会員の皆様は故郷を持っているし、また、心に残って居ると思います。ちょっとですが、これからは会員の皆様のかけはしとして役立てていければ良いと思っております。



= 京都だより =

駅伝と芋煮会 菅野 栄三 (椿出身)

故郷は遠くにありて思うもの、そして悲しく歌うもの…室生犀星は詠んでいます、私たち置賜人において故郷は思うだけでも癒しと励ましが得られる近くで暖かい存在です。

京都と置賜は上杉の昔から勉学に、染織にそして、萩生お諏訪様の神輿が宿場送りで京都から送られてくるなど縁が深く、今も多くの置賜人が住んでいます。(飯豊町出身は5名)

これらの人々は次の絆で結ばれています。

1、米沢有為会京都支部 …旧上杉領内の有為の人材を育てる育英財団で47名の会員です。総会は青葉の6月、一堂に集まり謙信公と鷹山公を遥拝後、米沢に関わる講演を聴きすき焼きやチャンコ鍋、お酒も入って『お達者で何より』と旧交を暖め懇親の一時を過ごしています(親睦第一また有為なるや…?)

2、鶴城工親会京滋支部…米沢工高のOB51名の会で年末の高校駅伝など母校選手の応援、新年会、ピヤパーティー、芋煮会など何時も賑やかにやっています。

3、京都山形県人会…置賜、村山、庄内、最上など全県に跨る親睦会で会員は342名です。正月の都道府県対抗女子駅伝の応援と慰労会、ピヤパーティー、芋煮会などの行事を催しています。こんな和気藹々たる郷土のつどいですが、最大の悩みは新人の加入が少なく会員の高齢化が進んでいることです。このため《郷土人の掘おこし》や《家族ぐるみの行事参加》で《都会砂漠のオアシス》の活性化を図り『駅伝応援と芋煮会の水脈』が枯れる事がないように頑張っています。

昔は良かった

幸田 あや子 (萩生出身)

近年稀に暑かった夏もようやく治まり、肌寒くて昨日毛布を出しました。

私の住むマンションの庭も「さるすべり」や「芙蓉」の花が満開でもう完全に秋になってしまいました。店頭には葡萄や梨、栗などがおいしそうに並んでいます。季節が変わって秋になり、すぐ又冬が来る。ああ一年の早いこと。何もしない内50代になり、60代になり、焦燥とともに何かこの頃感傷めいた気持ちになっています。世の中は、携帯電話、インターネットなど我々にはとてもついていけない世代になりました。それに比べ昔は貧しかったけれどのおんびりして楽しかった。秋ともなれば、いなご取り、栗拾い、きのこ取り、芋煮会など故郷での生活がなつかしい。こんな事をつくづく思う秋の一夜でした。

故郷

新野 孝司 (添川出身)

ある日、酒を過ぎ故郷のことを思う。瞬時に思い出される幼き頃の山川草木、家族、隣近所、友達、学校、祭り、遊び等々何とも懐かしい。最も生活を考えることもなかった頃。

ある日、世の常識の一切を捨てて、酒で身を持ちくずしながら作った先人の句で故郷を思い出させるものを揚句する。

漂泊孤絶の俳人 種田 山頭火

分け入っても分け入っても青い山
この道しかない春の雪ふる

古今独歩の俳人 尾崎 放哉

藁屋根草はえれば花さく
雀のあたたかさ握るはなしてやる

ある日、定年。還暦を間近に控える時期になった。種々の波浪を凌いで来れたのも故郷ありの踏ん張る心を持てたことで、常々故郷の全てのお蔭様以外何物でもないと感じている。ある日、故郷を忘れがたきまま…



会員の皆様お元気ですか

国分 秀高 (萩生出身)

昨年は例年になく暑い夏でしたね。私は定年間近に成人病の境界型糖尿病と診断されショックを受けました。でも、前向きに病気と闘いながら食事療法、運動(ウォーキング)を実践することを心に決めてそれ以来続けております。その後の検査では血糖値も安定しており安心しております。定年後も食後30~40分歩くのが日課となりました。ウォーキングしているといろんな人と出会いますが、自分より年上の人と会うと『俺も頑張るぞ』と気合を入れて頑張っております。皆様もウォーキングを実践してはいかがでしょうか。東京飯豊会も今年で42回目を迎えました。これもひとえに会員皆様、諸先輩の方々のお蔭とっております。今後とも東京飯豊会をよろしくお願いいたします。



楽しきかな ボランティア

平成9年7月、私が埼玉森林サポータークラブの会員になった時です。県の広報で案内を見ての参加でした。

少しの不安と大きな興味を持つての初回活動は、確か狭山市内山林の下刈作業であったと記憶しています。中津川出身の山猿にとって、ここいらの下刈は苦もなき事。意を強くした猿は以後活動にどんどんのめり込む事となりました。

ボランティアの内容は、森林の二文字からの想定通り下刈り、枝打ち、除間伐、代倒、植栽、植林と人手不足の森林作業の応援です。会員の方々は県内各地から、職業も様々、個性も多彩、いずれの方も積極的に話せば談論風発とどまる事を知らずなり。

一方、荒れた山々を目の当たりにしてきた事も事実です。

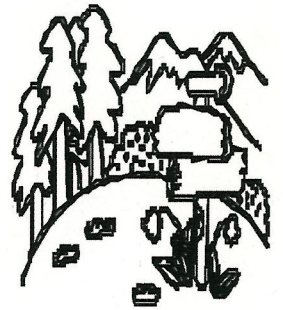
少しでも助けになればと思い、手弁当で頑張っ

宮城 慶吾 (中津川出身)

た次第です。素人集団とは言え、数は力なり…で「かなりの成果」と自負するところです。自分にとっては、月に2~3日の心の洗濯日です。全てを忘れて没頭、週日の疲れはどこかへ飛んで行き、心地よい疲れが満足感と呼んで呉れる一日となる次第…

今後も、仲間と共に楽しみ、汗を流し、美味しい昼を食べ、けがする事なく山仕事に精を出し、熟年を楽しむつもりでおります。熟年万歳!

ブラボー!ボランティア。



新たな出会い

還暦を迎え、予定通り会社殿から『出社に及ばず』のお声がかかり、天下晴れて失業の身となり、初めてハローワークを訪れた。そこは今日の経済不況を反映して、大勢の人…しかし雰囲気は以外に静かで、その大半が求人広告を真剣に見入っているのが印象的だった。こちらは失業給付を頂くのが目的で、毛頭から仕事を探す気など無い…と云いながら満貫定年退職にちよっぴり感謝した次第。しかしよくもまあ飽きずに辛抱強く40年近くも勤め上げた自分を誉めてあげたい?。時代も高度成長期、人材は会社の財産だなんて甘い言葉に踊らされ、気がつけば何時の間にやら海外ビジネス戦士。たまの帰国で家路を辿れば、物心ついた子供から『パパまたきてね!』ときつ~いお言葉。仕事の実態は文化と言葉の違いを除けば、田舎芝居もどき(失礼)のドサマワリに時差を掛け合わせた様なもの。参考まで海外勤務とは胃と精神力が丈夫であること、語学と頭はそれについてくる。今頃になって飛行機の座席で突然ポックリ、何とか症候群なんて現われ思わず胸を撫で下ろした。横道に逸れて申し訳ないがついでは先般、会社のお偉いさんと海外OBの方々から有難い送別会の席を設けて頂き、恒例の後輩に送る言葉と促され、年輩組に『過去の栄光を捨て無垢の心境に起ち返り、余計な言葉を慎み、頭を低くして時の過ぎるのをジーンと待って、それでも会社は給料をくれる有難いところ』若輩組には『こんな会社に骨を埋めるなん

手塚 久雄 (萩生出身)

てケチな事を考えるな、会社はそこまで面倒見ない、仕事は会社でなく己の為にしっかりやれ』と一度は云って見たかったセリフ、後日一悶着あったようだが、本人これですっきり爽やかな定年万歳!である。幸いに仕事を通し海外で多くの友人を持った。現在も文明の力、パソコンを駆使し楽しく交流を続けている。一方で7年程前から趣味の絵画を通じた地域との広がり、離郷者のふるさと『東京飯豊会』にお世話になり田舎が身近になる等、これまでの仕事仲間とは違ったく新たな出会いを心がけ大切にしている。最近ちょっと背伸びをし国際協力なんぞに登録、地域に住む外国人のケアをしながら再び海外へと夢を馳せている。残された“時”も決して多くはありませんがこれからも人との触れ合いを大切に暖め、充実した日々を送りたいと思う。



中の目の民家 会員・手塚久雄画



40回総会『コラールドめざみ』合唱団の歌声に感動のひと時



41回総会故郷が生んだ歌手『浜 博也』さんの熱唱に大感激

編集後記

私のふるさと会への参加するきっかけは、伯父からの“故郷会”への手伝い要請が始まりでした。それ以来紆余曲折が有りましたが、40年余の歳月が過ぎました。共通のお国訛り、食べ物、風景、人々のつながり、思い出、他所では、またお金では満たすことの出来ないこの思いで今日まで続いてまいりました。この様な楽しいことを共有するために、“会報”を発行し会の動きや町からの息吹を伝え、会員の交流の場に出来ればと願っております。素人集団の努力の結実であります。この会報第一号はいかがでしょうか。改善すべき事、努力不足等お気付きの点をお知らせ頂きたく、心よりお待ち申し上げます。この度、原稿や資料をご提供いただいた皆様に心からお礼申し上げます。

(記:高橋)

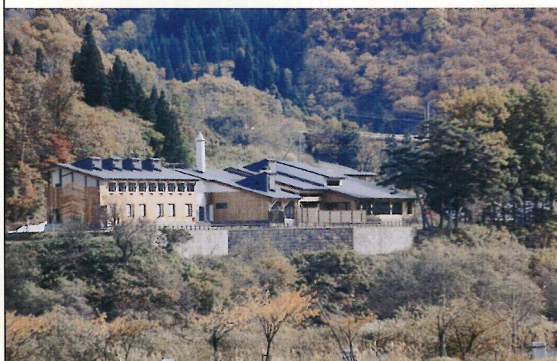
投稿依頼

広報部

拉致被害者、曾我ひとみさんが24年ぶりの帰郷に際し作られた詩は、啄木や佐藤春夫の詩と同じように故郷の全てを称え、素朴な涙あふれる心情を表したものでした。涙したのは私だけではなかったと思う。飯豊町を故郷とする皆様、町を離れての人生を力一杯生きておられる皆様、東京飯豊会の継続発展のため力をお貸し下さい。400字詰原稿用紙で2枚以内の目安で、建設的な提案、人生論、見たこと、言いたいこと、短歌、詩、俳句など形に囚われない思ったこと、感じたことをお寄せ下さい。お待ちいたしております。

広報部長 高橋 正孝 Tel:043-278-5229
 事務局長 志田 義雄 Tel:049-244-3940

飯豊の雄大な山並みと白川湖を 望みりフレッシュ



ホテル
フォレスト
いいで

ゆったり癒しプランキャンペーン中!! Tel:0238-78-0010
 1泊3食 8,000円(税サ別)

道の駅いいで めざみの里観光物産館



いい味・いい旅・いいでまち

ふるさとのお土産品・地元産直売所・飯豊牛・ファミリレストラン・ファーストフード店など、楽しさ一杯!!

Tel:0238-86-3939

《「花回廊ようざんろーど」をつくる会》からのお知らせ・・・

故郷に42.195Kmの花回廊(桜)を作ろう!! 今年は【飯豊町どんでん平ゆり園】に植樹いたします。皆様の参加をお待ちしております

事務局: 船橋市金杉7-41-1 (株) 都川コミュニケーションズ 高橋 栄次 Tel:047-440-7330